

西光寺だより

第四十七号 平成二六年 七月一日発行

七月に入り、いよいよ本格的な暑さになってまいりました。
七月七日（旧歴 八月七日）は、七夕ですが、こんな可愛い唄が
ありますね。

「笹の葉さらさら 軒端に揺れる お星様さらさら 金銀沙子

五色の短冊 私が書いた お星様さらさら 空から見てる」

今では軒下に笹の葉が見られるお家はほとんどなくなってしまうて
いるようですが、この唄を聞くと子供の頃、短冊に書いた願いごとを
笹に結び付けた記憶がよみがえります。

夢いっぱいの幼き日は、わくわくしながら星空を見上げ「どうか願
いが叶いますように」とお星様にお願いをしながら、おりひめ様とひ
こぼし様が出逢えるのを願ったものです。

さて、あの当時の自分の願いごとは叶っているでしょうか？叶って
いるという方も、違う方向に行かれた方も、忘れてしまった方もいら
っしゃることでしょう。大きくなるにつれ、上手くないこともた
くさん増えてきます。子供の頃からの夢がそのまま叶った方のほう
がおそらく少ないでしょう。

ただ、あの幼き日の純粋な気持ちは持ち続けていたいと思います。
願い事は、こうありたいと願う少し先の自分の姿です。

今の自分がしたいことは、なんですか？過去にやってみたかったこ
とは何ですか？明日はどんな自分でいたいのですか？来年の今頃はど
んな風に過ごしていきたいですか？

せつかくの七夕様、子供のようになら、無邪気な心にならな
るに短冊をしたためて下さい。大丈夫、大人になった今でもお星様
は変わらず、きらきらと空から見ていて下さいますよ。



◆七・八月の行事◆

八月 十五日 日（金）

盂蘭盆会法要

午後六時～

西光寺本堂

八月 二十一日（木）

茨木東組第六期連続研修会 第五回

午後二時～四時

称名寺（主原）

◆先月の報告◆

①六月十日（火）～十一日（水）に一泊二日の茨木東組聖跡巡拝旅行
に行つて参りました。茨木東組のご住職・寺族・ご門徒の皆様、約四
十名の方々と四国の浄土真宗本願寺派の塩屋別院や親鸞聖人の師であ
る法然聖人のご旧跡正宗寺を巡り、道後温泉に宿泊させて頂きました。

この塩屋別院は、江戸時代の1615年に兵庫県赤穂市の教法寺と
ご門徒22戸が塩田開墾のため、集団移住したのが始まりであり、1
643年讃州那珂群塩屋村総道場教法寺と称する寺号を賜り、以来念
仏者の中心道場となつていきました。その後、1734年に本願寺塩
屋別院となりました。そして正宗寺は、今からおよそ八〇〇年前の昔、
念仏の元祖法然聖人が当国遠流の法難の配所草庵の跡であるお寺であ
ります。法然聖人が、船で塩屋に上陸しこの時、水を願つて船の棹（さ
お）で地面を掘ると、水が出てきたという井戸を皆様で見つかりまし
た。もともとは浄土宗でありましたが、明治八年五月に浄土真宗本願
寺派末寺に転入、慧日山（權堀）正宗寺と号し現在に至ります。



塩屋別院にてご門徒の木村さんといっしょに。



法然聖人が掘られた「南無阿弥陀仏」



法然聖人が掘られた井戸。



法然聖人が井戸を掘った小舟の櫂 (棹・さお)

道後温泉の大和屋本店に宿泊し、非常に豪華でいきとどいた接客に、温泉にと大変良い旅館でありました。また、今治タオル美術館・伯方の塩工場を巡り、しまなみ海道を通っての帰り道でありました。各年の聖跡巡拝旅行ですが、日常とは違う時間をこうして茨木東組の仲間と共に過ごせましたこと感謝しております。ありがとうございます

ました。ご門徒の木村様、お疲れ様でした。そしてありがとうございます。

②六月十七日(火)茨木東組第六期連続研修会の第四回を西光寺にて行いました。テーマは「我が家は代々寺の門徒と神社の氏子の両方になっていきます。私の代になってやめられませんが、これでいいのでしょうか。」という内容で皆様とお話し合を行いました。

氏子というものは太陽や海、山などの自然を神と崇める(自然崇拜)農耕民族たる故の信仰が古来からあり、伝わっているようです。

神社の氏子として代々伝わってきているので今さらという考えや、神社には色々な取り決めがあるが、お寺はいつでもご先祖を偲ぶことが出来るので良い、など様々な意見が出ました。

まとめの法座では、神社とお寺の根本の違いの話(神社は祭りや祈りの宗教であり、お寺は聞信・聞法の宗教)をしていただき、改めて浄土真宗のご門徒であるということを見つめ直すいい機会になればと、しめくくられました。ありがとうございました。 合掌



↑西光寺の茨木東組第六期連続研修会にて、各班3班に分かれて話し合われたことを、皆様に発表。約四〇名のご門徒・住職が参加されました。

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>